

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年7月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871100202		
法人名	有限会社 二葉		
事業所名	グループホーム めぐる	ユニット名	
所在地	〒300-2511 茨城県常総市花島町29-4		
自己評価作成日	平成27年12月2日	評価結果 市町村受理日	平成28年7月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&JigyosyoCd=0871100202-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年3月7日	評価機関 決 済 日	平成28年7月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

夜間時も2名体制で支援にあたっている為災害等の初期対応がスムーズに行えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者と職員は、家庭的な雰囲気の中で日々の支援を通じて利用者と信頼関係を築くことで、入居前は認知症の症状で不安定な行動が多かった利用者が、入居後は精神面や行動面で落ち着いた生活を継続できるようになった。

利用者の定員が6名と少ない利点を生かして年に2回、1泊2日の温泉旅行を実施している。

管理者の住まいが事業所の敷地内にあることから、利用者との関係性をより深めていることや夜間等の災害時に2人以上の対応が取れることで、利用者や職員の安心につながっている。

事業所で猫を3匹飼っており、利用者は猫の飼育をきっかけに会話も増え、利用者の生活に潤いを与えている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中でグループホームの役割を担えるように、職員全体の意見を基に理念を構築している。	管理者や職員で話し合っ地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、毎朝のミーティング時に理念に即した支援が出来ているかを確認している。 管理者や職員は、利用者が快適な空間で毎日安心した生活が送れるよう、日々の支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の途中、近所のお茶を呼ばれたり、近隣の住民の方がホームに遊びにこられたり地域の一員として日常的に交流している。	地域の神社の祭りでは、子ども神輿が事業所に立ち寄って利用者がお祝いを渡したり、利用者がゴミ出しに行った際には、近隣住民と挨拶を交わすなど、日頃から地域住民と交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ボランティアの受入など、ホームを積極的に開放している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議により、それぞれの立場から意見を出していただき、サービスの向上に努めている。	運営推進会議は市職員や地域住民、利用者家族等の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の状況や事業所の活動内容、避難訓練の実施状況について報告し、事業所の日常の取組みの理解を促している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の開催日など市町村担当者と連絡をとりあい協力関係を築いている	市担当者が運営推進会議に出席した際には、利用者に関わってもらえる機会をつくるほか、事業所の取組みを報告している。 市の生活保護担当者が年1回来訪し、生活保護受給利用者の状況を把握したり、相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルに沿って拘束のないケアに取り組んでいる	重要事項説明書に身体拘束廃止に向けた取組みを明記し、利用開始時に利用者や家族等に説明している。 玄関は施錠せず、職員が家族等と同じといった安心感を利用者が持つことで、自由な生活の確保と身体拘束をしないケアを実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的、精神的な虐待も見過ごすことがないように、注意を払っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	職員の制度への理解が不足しており、今後勉強する機会を設けなければならない		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に、十分納得いくよう説明し、了承を得た上で、契約を結んでいる		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置など、意見を取り入れられるよう努力している	重要事項説明書に外部の苦情相談受付窓口を明記するとともに、意見箱を設置したり、家族等には面会時に意見や要望を聴くようにしている。 昨年家族アンケートを実施したところ、事業所への感謝の回答が多く見られた。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者がホーム内に住み込んでいる為、毎朝職員とコミュニケーションを密にとっている	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを重視し、職員とはいつでも何でも相談できる関係が出来ている。 職員からの提案を受け、お尻拭きは温かいウエットティッシュを使用するなど、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所内での意見が反映できるような環境に勤めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を積極的に受ける仕組みが構築されている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームと電話等で連絡をとりあい、連携を深め、意見交換、ネットワークづくりをしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	知りえた情報をスタッフ間で共有し、利用者様に寄り添い馴染みの関係を築くことで、一人ひとりの思いを汲み取れるよう心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にご家族の一員として関わりが持てるよう了承をいただき、アットホーム的なホーム作りを心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居問い合わせ時に情報の聞き取りを行い、最良の選択肢を選べる支援を心がけている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	すべての方々に心地よい空間であるよう心がけている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様ありのままの状況をご家族に理解していただき、グループホーム介護は家族とともに、より良い関係づくりを心がけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の人間関係を把握することにより、これまでの関係を継続できるよう支援している	フェイスシートを活用したり、家族等から話を聴くなどで利用者のこれまでの人間関係等を把握している。 職員が同行して、墓参りや入居前に住んでいた利用者の自宅に行くなど、馴染みの関係の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの生活の場であることを認識し、ともに支えあえる環境づくりを心がけ支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後も必要に応じて、相談、助言できるよう心がけている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様に寄り添うことで、常に生活のパートナーであることを認識することにより本人の望まれる生活を追及しながら情報を共有していく取り組みを心がけている	利用者一人ひとりに寄り添う日々の支援の中で、利用者との会話や態度などから、職員は利用者の思いや意向を把握している。 新たな情報を得た場合には、「利用者日報」に記載して職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活のリズムを重視し、ライフスタイルに合わせた生活が営まれるよう支援することにより、経過を観察しニーズにあった生活ができるよう配慮している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、バイタルチェック表を用いて状況を把握し、一人ひとりにあったケアを目指している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者を中心に利用者様がより良い生活を送ることができるよう話し合い、検討し作成している	介護計画は事業所で開く介護計画方針会議で、利用者や家族等のほか、職員の意見や要望を取り入れて計画作成担当者が作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを行うとともに、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身体的状況、精神的状況を個別に記録し、職員全員で状況の把握を徹底している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	生活全般を総合的に援助し、ご利用者、ご家族様の負担軽減に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民との交流を積極的に行い、ホーム内外で地域資源を活用している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	なじみの関係を継続するために、かかりつけ医に診察できるよう支援している	入居前からのかかりつけ医への受診を支援し、職員が付き添っている。 受診内容は家族等に報告するとともに、記録して職員で共有している。 歯科については、3ヶ月に1回訪問歯科診療を実施している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で捉えた情報や気づいたことは職員間で共有し、受診時には報告し、適切な受診ができるよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時家族との連絡を密にし医療機関との情報交換や相談を行い、本人のストレスや負担の軽減に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期についても家族の意向を確認し、施設としての限界についても十分に説明し同意を得ている	「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を作成し、基本的に看取りは行わないことを明記している。 契約時に事業所として支援出来る限界を利用者や家族等に説明し、書面にて同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急講習を受講し、スタッフのスキルアップに努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間、夜勤者の他に1名宿直し昼夜を問わず2名体制で避難できるような体制にし、避難訓練を行っている	消防署の指導を受けながら、夜間想定を含む年2回の避難訓練を実施している。 管理者の住まいが事業所の敷地内にあることで、スムーズな避難誘導と夜勤者等の安心につながっている。 訓練後は今後の課題等を職員で話し合い、記録に残している。 災害に備えて水や缶詰、カップラーメン、乾麺、卓上コンロを備蓄しているが、数や賞味期限等を把握するまでには至っていない。	数や賞味期限等を記載した備蓄品リストを作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自社のプライバシーポリシーに基づき実践できるような働きかけをしている	利用開始時に個人情報の取り扱い等について、利用者や家族等に説明し了承を得ている。 個人情報の管理については、鍵のかかる事務室の書棚で管理している。 一人の時間を過ごしたい時には、日中でも居室で一人になる時間を保障している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様一人ひとりの思いを叶えられる働きかけを常々確認し合い、希望に沿った生活を営めるよう模索している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先することなく、利用者様本意の生活を追及している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みを尊重し、身だしなみ等にも気を配れるよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	常々心がけし、調理への参加を励行し外食、自由食を設け希望に沿った食事を提供できるようにしている	食材を依頼している業者の栄養士が献立を作成し、職員が調理をして食事を提供している。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや下膳をしている。 職員は利用者と会話を楽しんだり、食べこぼしや嚥下に注意を払いながら一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタル表を全職員が共有し、水分量や食事量、体重増加を確認し、脱水につながらないように配慮している	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけを実施し、一人でできない方へは介助し、毎日夕食後、義歯洗浄を行っている	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録表により、状況を把握し自立支援に向けたケアを心がけている	職員は排泄の記録票を記入するとともに、日頃から利用者の態度や仕草から排泄リズムを把握し、利用者の尿意を優先にした支援に取り組んでいる。 朝食にヨーグルトやバナナを提供していることで、利用者の便秘解消に取り組んでいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の体操、散歩などや食物繊維の多い食材を提供したり、自然な排便を促す、利用者の中には病院から下剤を処方されている人もいます		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	原則毎日利用者全員入浴支援している	入浴は同性介助を基本とし、毎日可能となっており、少なくとも週3回は入浴できるよう支援している。 入浴を拒む利用者には、入浴後の飲み物を提案することで入浴がスムーズに行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床、就寝時間に決まりはなく、一人ひとりの生活のリズムに合わせて日中の活動を増やし、夜間の安眠につなげている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の際飲み残しがないよう確認している、症状に変化がある場合は職員・家族にて話し合い主治医に指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の望みや好みを活かせるように、生活全般で活躍できる場面を設けるようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に買い物、ドライブ等をしている、年2回程温泉など、1泊旅行にも出かけている	天気のいい日に事業所周辺を散歩したり、毎週日曜日は車いすの利用者も含めて外出の機会をつくり、買い物や外食を支援している。 利用者が6名と少人数の利点を生かし、近隣のスーパーや道の駅等にドライブに出かけるほか、年2回泊まりがけの温泉旅行を実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に合わせた金銭管理を実施できるよう心がけている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ニーズに応じて自由にやり取りができるよう支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている	玄関や居間兼食堂は、植物等で季節感を取り入れるよう配慮している。 居間兼食堂の掲示物は、食事のメニューなど必要最低限に止め、廊下にはこれまで行った宿泊旅行の写真を貼って利用者がいつでも眺め、思い出に浸れるようになっている。 居間兼食堂のテレビの前には大きめのソファを置き、ゆっくり寛げるように配慮している。 居間兼食堂からは、いつでもテラスに出て外気にふれることができる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の自席の他、ソファ、ウッドデッキなどを設置し、気の合った利用者同士で過ごしていただいている	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、馴染みのものを持ち込んでいただくようにご家族に提案し実現されてきている	居室にはエアコンやベッド、カーテンが備え付けられている。 利用者はテレビや整理筆筒、机、椅子等の使い慣れた物品や、位牌等の大切にしている物品を持ち込んで過ごし易い部屋にしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで各所に手すりを設置している、照明の工夫による夜間誘導など利用者の安全を確保し、自立した生活ができるよう配慮している	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと ○ 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム めぐる

作成日 平成28年7月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄品の数や賞味期限を記載したリストを、作成していない。	備蓄品の数や賞味期限を把握する。	備蓄品の数や賞味期限を記載したリストを作成する。	1か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。